中継槽付汚水・汚物ポンプユニット

RPU

TERAL

テラル株式会社

■用途

●一般住宅・集合住宅・学校・病院・工場・公園等の汚水・汚物の中継移送、放流用

■特長

①中継槽として必要な部品をユニット化していますので、施工も容易で工期の短縮がはかれます。
②水槽容量 0.56m³、1.03m³、1.48m³、1.72m³、2.15m³、3.8m³ と 6 種類。現場に応じて最適な容量の水槽がセレクトできます。
③水槽は FRP 製、配管は塩ビ製で腐食の心配がありません。
④多種多様の水中ポンプが取付可能ですので、用途に応じた選定が可能です。
⑤特別付属品として、かさ上げ材、鋳鉄製マンホール等取り揃えています。

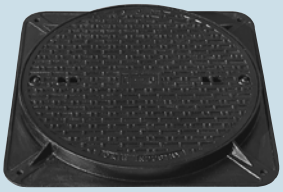
■型式説明

RPU - 50 PV - 5 .4 S - B E C
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

①中継槽ポンプユニット
②ポンプ呼称径
③ポンプ機種（自動交互並列運転型の場合 PVT となります）
④周波数 50Hz（60Hz の場合は 6 となります）
⑤出力（0.4kW）
⑥単相 100V（三相の場合は無記となります）
⑦制御盤（付属しない場合は無記となります）
⑧中継槽形式 EⅡ（BⅡ-60 の場合は BⅡ、CⅡの場合は CⅡ、AⅢの場合は無記、FⅡの場合は F、GⅡの場合は G となります。）
⑨着脱装置付き C 型（SEC 型の場合は S、無しの場合は無記入となります。）

中継槽（AⅢタイプ）

PVT型樹脂製セミボルテックス水中ポンプ


鋳鉄製マンホール（オプション）

かさ上げ材（オプション）

※写真と実際の機器は塗装色等一部異なる場合がありますのでご了承ください。

■中継槽標準仕様

中継槽型式	BⅡ-60	CⅡ	AⅢ	EⅡ	FⅡ	GⅡ
容量※1 [m³]	0.56	1.03	1.49	1.85	2.28	3.80
有効容量※2 [m³]	0.30	0.64	0.94	1.18	1.60	2.50
径 [mm]	905	1230	1280	1585	1585	2055
高さ [mm]	1310	1340	1940	1435	1705	1635
材質	FRP					
開口部	φ600マンホール（PP製）　耐荷重5kN					φ600+φ450マンホール（PP製）　耐荷重5kN または、角蓋（鋳鉄製）　耐荷重15kN（適用は■適用ポンプ型式一覧表 表1、表2参照）
流入管 [mm]	125（塩ビ製）※3					
吐出管 [mm]	50A（塩ビ製）×2箇所　または、65A（塩ビ製）×2箇所					
付属品	1）電気配線用ソケット付き　1個（FPK-36）					
	2）Uボルト付き　2個（フロートスイッチ吊り下げ用）					
	3）吊りチェーン用フック付き（着脱装置付きのみ）					

※1：容量は槽全体容量を示します。
※2：有効容量は最高水位までの容量を示します。
※3：BⅡ-60 槽の着脱装置付きの場合、流入管径は 100A になります。

■適用ポンプ型式一覧表

表1. ポンプ吐出口径50mm対応可否一覧

吐出口径 mm	ポンプ型式	出力 kW	BⅡ-60		CⅡ		AⅢ		EⅡ		FⅡ		GⅡ	
			据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き
50	PV	0.25	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		0.4	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		0.75	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SVC	1.5	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3.7	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	■
	PL	0.4	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		0.75	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SSU	1.5	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
		2.2	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
		3.7	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
	BO	0.75	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
		1.5	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
	KO	0.75	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
		1.5	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
	SCU	0.75	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
		1.5	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
		2.2	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
	BOS	0.4	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
		0.75	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
	KOS	0.75	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	■
	SSUS	0.4S	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		0.4	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		0.75	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■

□部が、標準対応品となります。
それ以外のものについては、準標準対応となります。

○印：対応可能
×印：対応不可
△印：流入管口径は 100A になります。
■印：開口部はマンホールタイプではなく、角蓋になります。

表2. ポンプ吐出口径65mm対応可否一覧

吐出口径 mm	ポンプ型式	出力 kW	BⅡ-60		CⅡ		AⅢ		EⅡ		FⅡ		GⅡ	
			据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き	据付タイプ	着脱装置付き
65	PV2	1.5	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		2.2	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		3.7	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
	SVC	1.5	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		2.2	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		3.7	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		5.5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	■
		7.5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	■
	PVP	1.5	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		2.2	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		3.7	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
	SSU	1.5	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	■
	BO	1.5	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		2.2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	■
		3.7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	■
	KO	1.5	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		2.2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	■
		3.7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	■
	SCU	1.5	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		2.2	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		3.7	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	■
		5.5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	■
		7.5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	■

□部が、標準対応品となります。
それ以外のものについては、準標準対応となります。

○印：対応可能
×印：対応不可
■印：開口部はマンホールタイプではなく、角蓋になります。

■機種構成

自動交互並列運転内蔵
非自動ポンプ2台+制御盤+フロートスイッチ3個（FS2型）
非自動ポンプ2台のみ

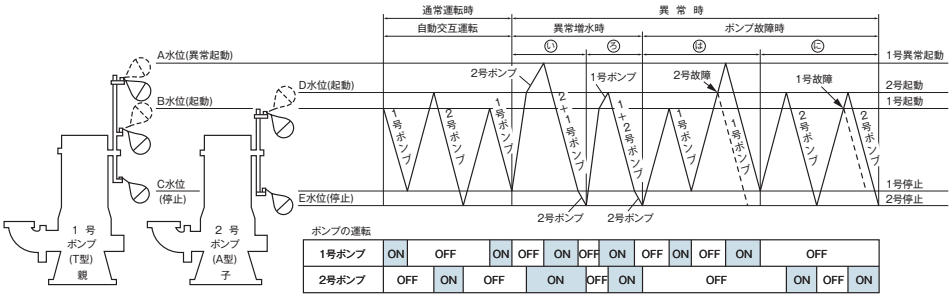
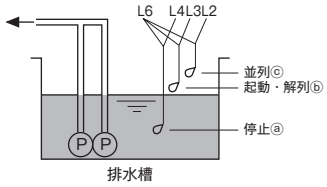
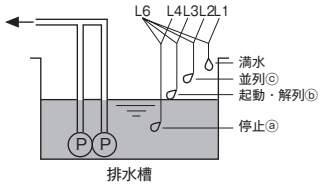
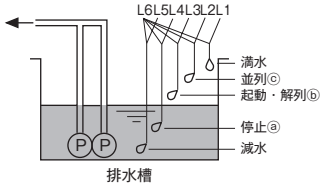
■特別付属品

嵩上げ材（300H以下）
フロートスイッチ（標準3個→最大5個:制御盤付きの場合）
マンホールフック･レンチ
浮上防止用金具

■特殊仕様

鋳鉄製マンホールへ変更	安全荷重15［kN］
流入管サイズ変更	125A→100A
	125A→150A
流入管追加	
流入管位置変更	
通気管用ソケット付き	
電気配管用ソケット追加	PF管コネクター
吊りチェーンをSUS製へ変更	着脱装置付きの場合
ポンプ電源ケーブル延長	
ポンプ異電圧仕様	

■制御例

運転方式	構　成	制　御　例
交互並列運転	●自動交互並列運転型ポンプの場合	 **通常運転時** 1号ポンプはB水位に達した時、起動する時と起動しない時を交互にくり返し、2号ポンプに起動の機会を与えます。 **異　常　時** ㋑2号ポンプが運転中、異常増水でなおも水位が上がる時はA水位で1号ポンプも起動し、2台のポンプが並列運転して水位を下げます。 ㋺1号ポンプが運転中、異常増水でなおも水位が上がる時はD水位で2号ポンプも起動し、2台のポンプが並列運転して水位を下げます。 ㋩2号ポンプが故障した場合、1号ポンプがB水位とA水位で交互に起動、C水位で停止をくり返します。 ㋥1号ポンプが故障した場合、2号ポンプがD水位で起動、E水位で停止をくり返します。 （注）　運転水位は、E水位<C水位<B水位<D水位<A水位となる様に設定し、各フロートの水位差を50mm以上に取ってください。設定水位が正常でないと、誤動作の原因となります。
	●BD3L型制御盤付の場合 ○ ポンプ2台 ○ フロートによる液面制御 ○ ビルピット機能 ○ 外部警報端子 ○ ブザー付	**制御例①**  ・ポンプ２台による排水 ・フロート３個による液面制御 ・ビルピット機能 （制御盤のパラメータ設定により機能有） ・外部警報端子 「1 号故障」「2 号故障」「一括警報」 ※　L6-L5間を短絡してください。 **制御例②**  ・ポンプ２台による排水 ・フロート４個による液面制御 ・ビルピット機能 （制御盤のパラメータ設定により機能有） ・外部警報端子 「1 号故障」「2 号故障」「排水槽満水」「一括警報」 ※　L6-L5間を短絡してください。 **制御例③**  ・ポンプ２台による排水 ・フロート５個による液面制御 ・ビルピット機能 （制御盤のパラメータ設定により機能有） ・外部警報端子 「1 号故障」「2 号故障」「排水槽満水」「排水槽減水」「一括警報」 ○ 通常ポンプは中継槽の水位がⓐとⓑの間で1号⇄2号と交互に自動運転します。 ○ 1台で排水量が不足の場合、水位がⓒまで上昇した時点でもう1台のポンプが追従運転を開始します。 ○ 中継槽の水量が減少し、ⓑの水位になると先に運転を開始したポンプは運転を停止します。 ※詳しくはBD3L制御盤カタログを参照ください。

■選定図

排水水中ポンプの選定図参照

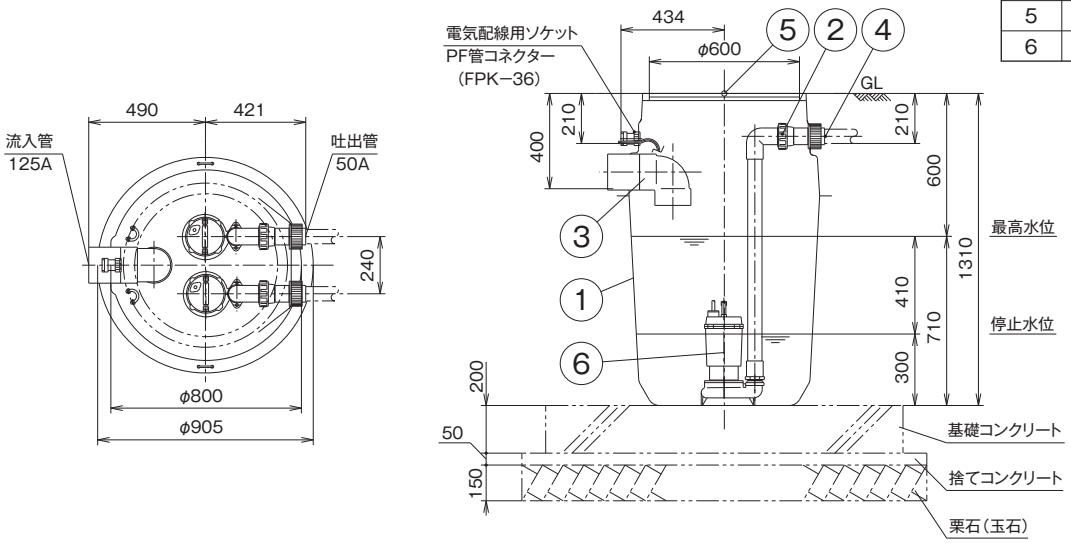
■仕様表

排水水中ポンプの仕様表参照

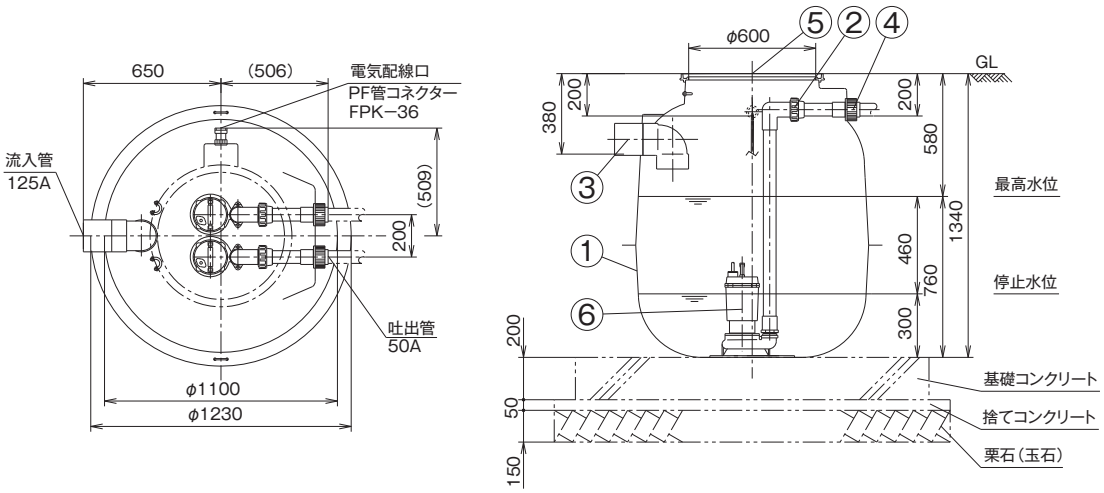
■外形寸法図〔非自動型ポンプ内蔵タイプ〕の場合

符号	部 品 名	数量	材質
1	中継槽	1	FRP
2	逆止弁	2	PVC
3	流入配管	1	PVC
4	吐出配管	2	PVC
5	マンホール蓋	1	PP
6	ポンプ	2	

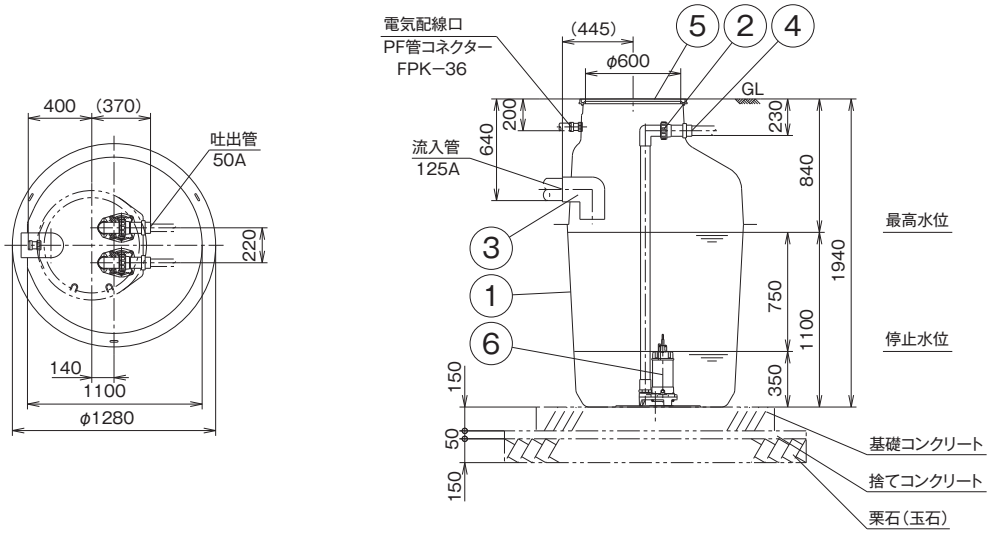
●BⅡ-60タイプ　中継槽質量（ポンプ含まず）30kg



●CⅡタイプ　中継槽質量（ポンプ含まず）52kg



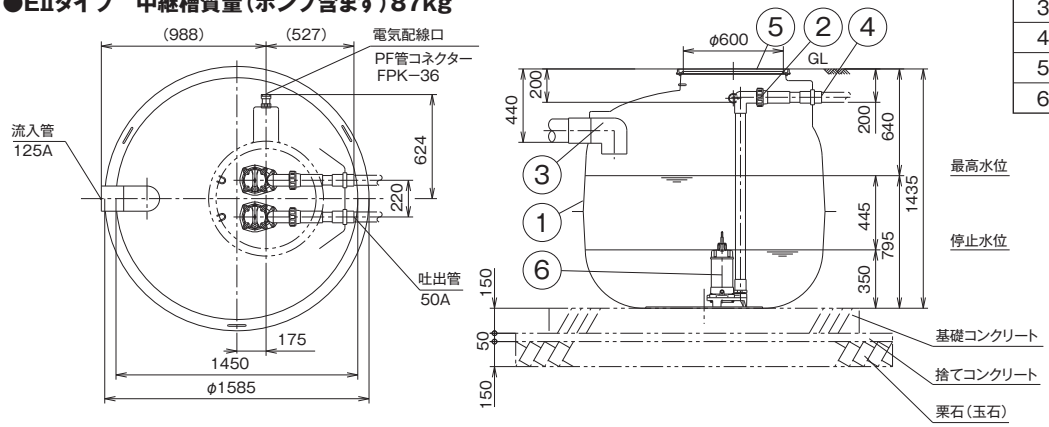
●AⅢタイプ　中継槽質量（ポンプ含まず）95kg



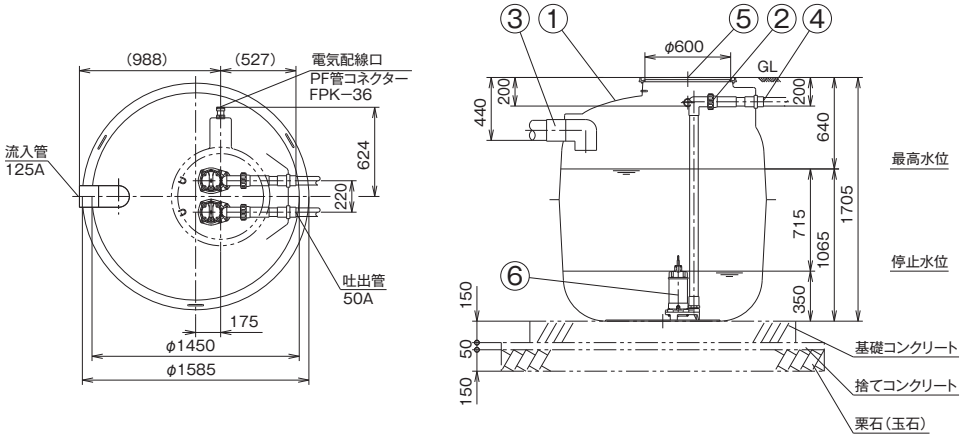
■外形寸法図〔非自動型ポンプ内蔵タイプ〕の場合

符号	部 品 名	数量	材質
1	中継槽	1	FRP
2	逆止弁	2	PVC
3	流入配管	1	PVC
4	吐出配管	2	PVC
5	マンホール蓋	1	PP
6	ポンプ	2	

●EIIタイプ　中継槽質量（ポンプ含まず）87kg

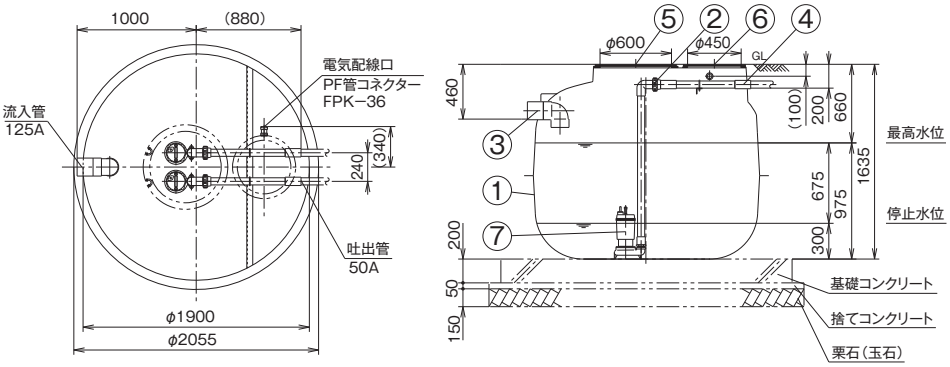


●FIIタイプ　中継槽質量（ポンプ含まず）100kg



符号	部 品 名	数量	材質
1	中継槽	1	FRP
2	逆止弁	2	PVC
3	流入配管	1	PVC
4	吐出配管	2	PVC
5	マンホール	1	PP
6	マンホール	1	PP
7	ポンプ	2	

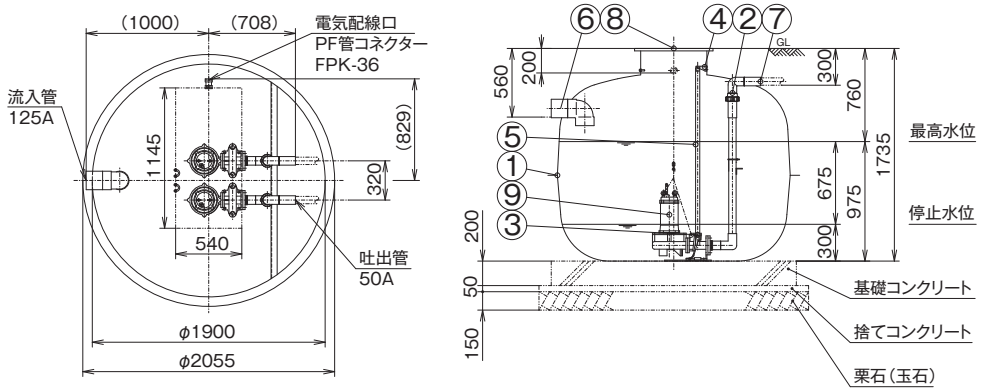
●GIIタイプ（開口部マンホールタイプ）
中継槽質量（ポンプ含まず）132kg



符号	部 品 名	数量	材質
1	中継槽	1	FRP
2	逆止弁	2	PVC
3	着脱装置	2	FC200
4	パイプサポーター	2	FCD450
5	ガイドパイプ	4	SUS304
6	流入配管	1	PVC
7	吐出配管	2	PVC
8	角蓋	1	FC200
9	ポンプ	2	

マンホール耐荷重：15kN

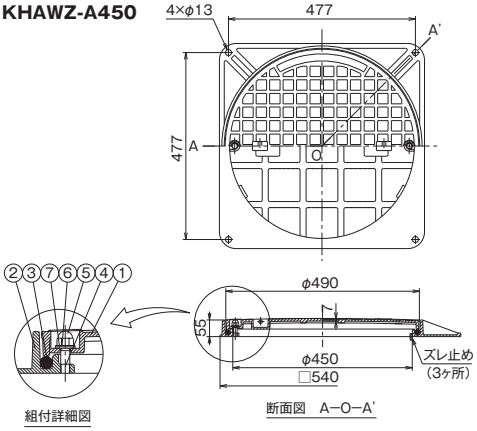
●GIIタイプ（開口部角蓋タイプ）
中継槽質量（ポンプ含まず）132kg



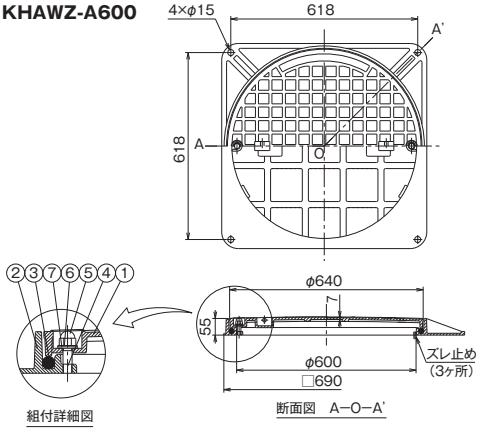
■特別付属品・特殊仕様

●鋳鉄製マンホール（耐荷重 15kN）

KHAWZ-A450



KHAWZ-A600

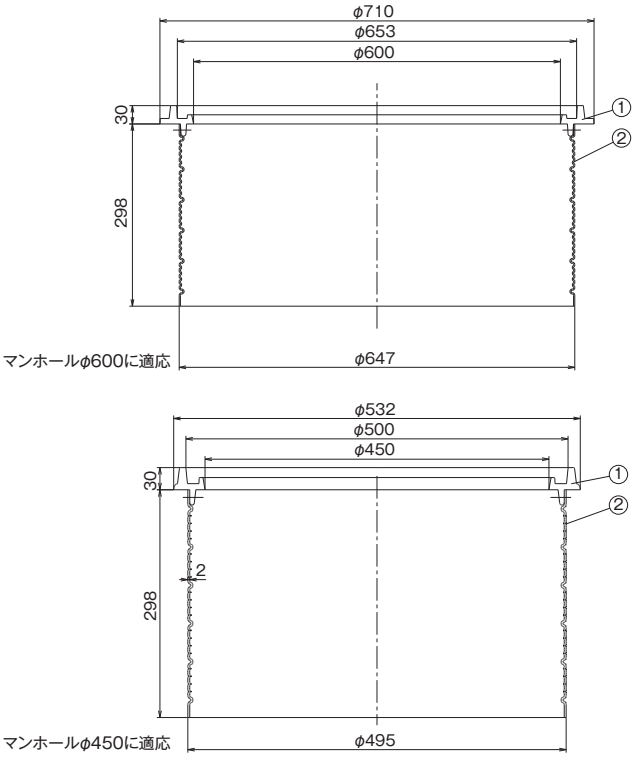


型　式	概算質量 kg
KHAWZ-A450	23.7
KHAWZ-A600	39.9

符号	部 品 名	材質	数量
1	上蓋	FCD500	1
2	受枠	FC200	1
3	ゴムパッキン	CR	1式
4	植込ボルト	SUS304	2
5	キャップナット	SUS304	2
6	ワッシャー	SUS304	2
7	パッキン	CR	2

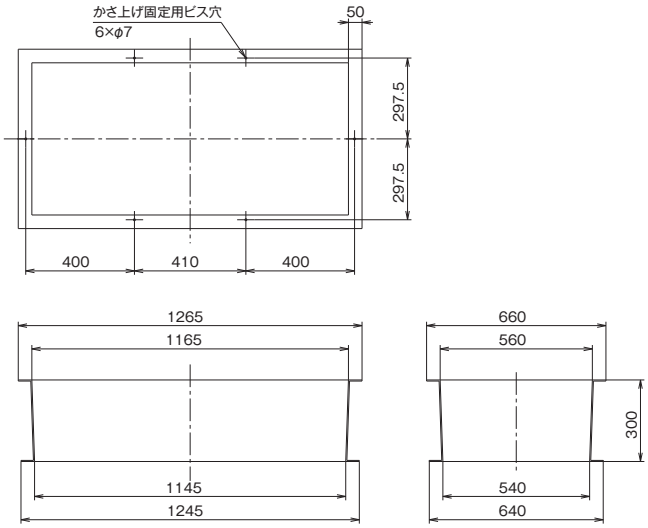
●かさ上げ材

RPU33P-300



符号	部 品 名	材質	数量
1	受枠	PP	1
2	嵩上げ	PVC	1

540×1145×300H



角蓋540×1145に適応

型　式	材　質	概算質量 kg
540×1145×300H	FRP	8

■設置等についてのご注意

1.設置について

・井戸等の水源から 5m 以上離れた所に設置してください。
・中継槽の大きさと比較して、設置場所の広さに余裕があるかどうか調べてください。
　また、建物の基礎から十分に離して設置できるかどうか、土留めが必要かどうかの検討もしてください。

2.搬入路の確認

・中継槽の搬入、残土排出のため、2t トラック程度の入るスペース（2m×3.5m）は確保してください。

3.掘削工事について

・設置場所や流入管、吐出管の方向を確認し約 500mm 大きく掘削してください。またマンホールの蓋が GL から 3~5cm 高めに据え付けしてください。配管の関係からやむおえずマンホールの位置が GL より低くなる場合は降雨時などに雨水などが流れないように工夫が必要です。

■施工上のご注意（施工に当っては取扱説明書に従って工事を行ってください。）

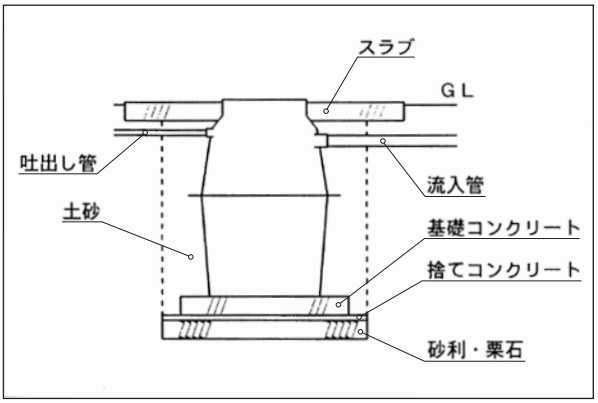
●一般的な基礎工事

基礎工事を完全に行うことは、中継槽全体の水平の確保と不等沈下の防止のため、きわめて重要です。

（1）割栗石地業
栗石（割栗または玉石）と砂利（切込み砂利）による栗石地業を行います。掘削の際に荒らされた地盤を固めるのが目的ですから、つき固めは、栗石が土中に充分くい込むように念入りに行う必要があります。
割栗石は、約 15cm の厚さで、「タコ」等を用いてつき固めてください。

（2）捨てコンクリート打ち
約 5cm の捨てコンクリートを打ってください。なお、この捨てコンクリートの段階でしっかりと水平を出しておいてください。

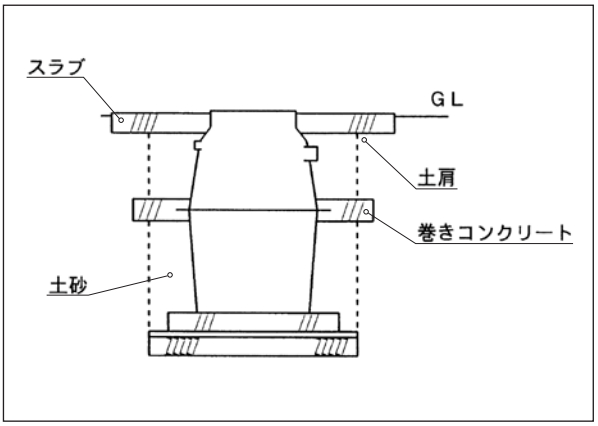
（3）基礎コンクリート打ち
基礎仕上げ高さを確認し、水平に約 15cm のコンクリートを打ってください。なお、これらのコンクリートを省略して砂だけを敷いたような基礎を作りますと、長い間に砂が洗い流されて、栗石の鋭角な部分が直接槽の底面に接し、破損する恐れがありますので必ず、コンクリートを用いてください。
スラブ、底盤等は型枠を組み型枠の水平を設定し施工して下さい。



●湧水などで中継槽の浮上が心配される場合

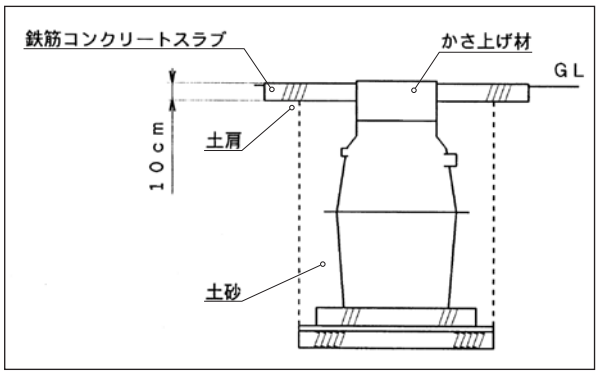
湧水がある場合は、湧水条件を確認のうえご相談ください。湧水条件によっては、標準槽で対応できない場合があります。

【施工例】
フランジ（浮上防止）のまわりに巻コンクリートを施してください。

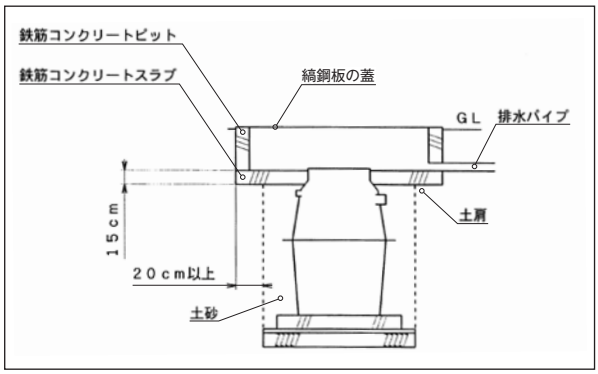


●流入落差の不足する場合（かさ上げ工事を必要とする場合）

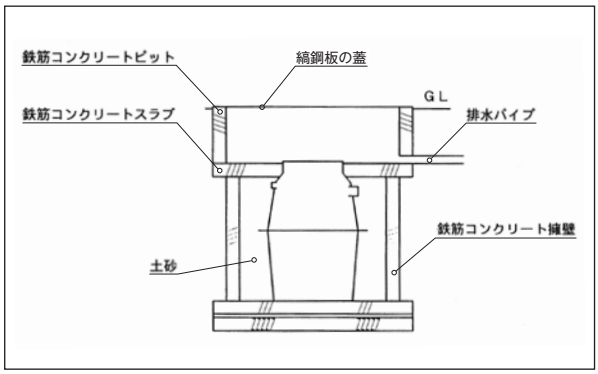
1）かさ上げが 30cm の場合
特別付属品のかさ上げ材を用いて行ってください。
また、上部は鉄筋コンクリート仕上げとし、荷重は土肩で受けるようにしてください。
・鉄筋の径：φ9cm
・ピッチ：20cm（タテ、ヨコ共）



2）かさ上げが 30cm 以下で 1）項以外の場合
（1）維持管理が容易に行えるよう、鉄筋コンクリートのピットを中継槽の周囲に設けてください。ピットの上面は、縞鋼板等で蓋をしてください。
（2）ピット内は、排水できるよう施工してください。



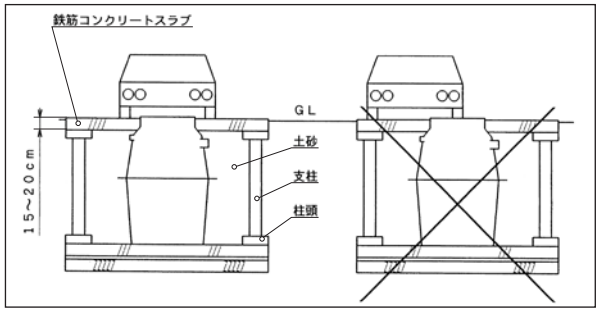
3）かさ上げが 30cm を超える場合
（1）維持管理が容易に行えるよう、鉄筋コンクリートのピットを中継槽の周囲に設けてください。ピットの上面は、縞鋼板等で蓋をしてください。
（2）ピット内は、排水できるよう施工してください。
（3）中継槽を保護するため、中継槽の周囲にも鉄筋コンクリート製の土どめ、または支柱を設けてください。



●車庫内に設置する場合

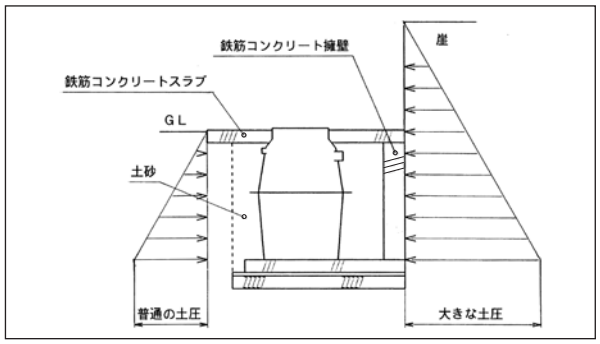
（1）スラブは鉄筋コンクリート打ちとしてください。
・鉄筋の径：φ9
・ピッチ：20cm（タテ、ヨコ共）
・スラブ厚：15~20cm
（2）荷重は、中継槽に直接かからないよう支柱（20~30cm）を立てて支持してください。また、大型車両の通るところに設置する場合は、輪圧荷重が、中継槽に加わらないよう、土どめを設けてください。
（3）通常の施工とは別に車両の荷重が加わるわけですから地耐力に余裕があるかどうか確認してください。

注記：マンホール上を直接車輪が通過する場合は、重荷重用のマンホール（特殊仕様（耐荷重 15kN））を使用してください。

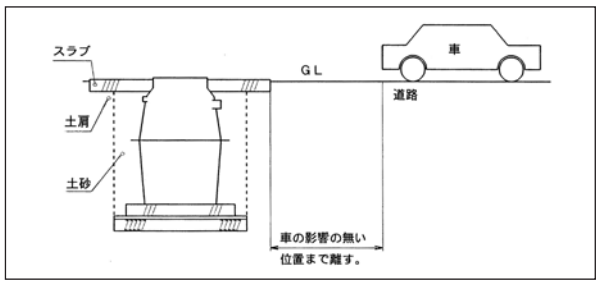


●荷重の大きな場所に設置する場合

1）がけ下に設置する場合
がけ下に設置する場合、中継槽は平地に設置する場合の数倍もの土圧を受けますので、土圧が強いがけ面の側に土圧に応じた鉄筋コンクリートの擁壁を設けて土圧を遮断してください。

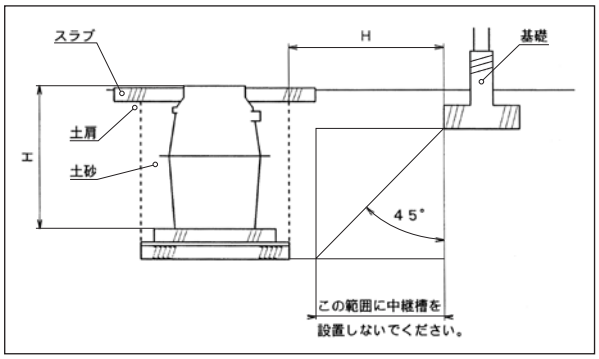


2）交通量の多い道路ばたに設置する場合
交通量の多い道路ばたに設置する場合も、1）項「がけ下に設置する場合」と同様の対策をとりますが、できるだけ道路から離して、車の通行に影響の受けない位置への設置を心がけてください。

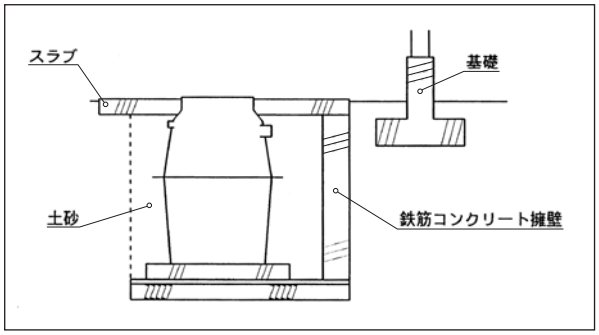


●周囲に構造物のある場所に設置する場合

1）家の基礎または、大きな建物に接して設置する場合、建物の基礎の外側から 45°の線の外側に設置してください。

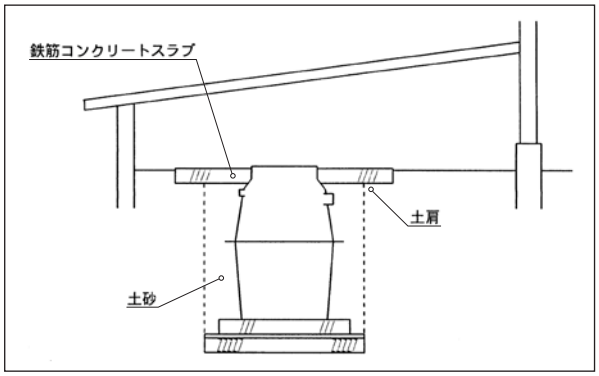


2）建物の基礎と離せない場合は、鉄筋コンクリートの擁壁を設けてください。擁壁の鉄筋コンクリートの厚さ、鉄筋径、ピッチは、擁壁に作用する土圧に応じて決めてください。



●寒冷地に設置する場合

（1）保温対策
中継槽内が凍る恐れのある場合は、水面がその地方の凍結深度以下になるように、深埋めを施してください。
深埋めの方法は、かさ上げの場合と同じ方法により行ってください。
（2）多雪地に施工する場合
多雪地における施工については、地域によって多少の相違はありますが中継槽の上部に屋根囲い等をして積雪により中継槽に荷重が直接かからないように施工してください。
又、多雪地ほどでない地域でも、かさ上げがある場合はかさ上げによる土圧と積雪による荷重を考慮して施工してください。



MEMO

TERAL

テラル株式会社

本　　社 広島県福山市御幸町森脇230 〒720-0003 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777
東京支社 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル 〒112-0004
www.teral.net

東京支社				
東京産業システム課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-8101	FAX.03-3818-6798
東京環境システム1課			TEL.03-3818-7800	FAX.03-3818-5031
東京環境システム2課			TEL.03-3818-7766	FAX.03-3818-5031
東京環境システム3課			TEL.03-3818-7800	FAX.03-3818-5031
東京施工管理課			TEL.03-3818-7764	FAX.03-5684-0218
東京開発課			TEL.03-3818-6846	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術1課			TEL.03-6891-7800	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術2課			TEL.03-6891-7800	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術3課			TEL.03-6891-7800	FAX.03-3818-5031
東北支店				
仙台営業所	仙台市宮城野区銀杏町39-25	〒983-0047	TEL.022-232-0115	FAX.022-238-9248
札幌営業所	札幌市中央区北11条西23丁目1-3	〒060-0011	TEL.011-644-2501	FAX.011-631-8998
郡山営業所	郡山市島1丁目13-9	〒963-8034	TEL.024-922-5122	FAX.024-922-4226
北関東支店				
大宮営業所	さいたま市見沼区大和田町2-1018-2	〒337-0053	TEL.048-681-7822	FAX.048-681-7082
新潟営業所	新潟市中央区山二ツ5丁目6-21	〒950-0922	TEL.025-287-5032	FAX.025-287-3719
長岡営業所	長岡市宮関3丁目1-21	〒940-2021	TEL.0258-29-1725	FAX.0258-29-2369
水戸営業所	水戸市白梅4丁目2-16	〒310-0804	TEL.029-224-8904	FAX.029-231-4044
土浦営業所	牛久市ひたち野西四丁目22-3 オーシャンパドラー フロアC	〒300-1206	TEL.029-870-2760	FAX.029-870-2761
宇都宮営業所	宇都宮市鶴田町3333番地18	〒320-0851	TEL.028-346-3400	FAX.028-346-9432
前橋営業所	前橋市元総社町84-3	〒371-0846	TEL.027-253-0262	FAX.027-253-0278
東京支店	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-6751	FAX.03-3818-6763
城東営業所			TEL.03-3818-7769	FAX.03-3818-6763
城西営業所			TEL.03-3818-6752	FAX.03-3818-6763
アクアシステム関東営業所			TEL.03-5684-0238	FAX.03-5684-0218
立川営業所	立川市幸町3丁目32-9	〒190-0002	TEL.042-536-2714	FAX.042-538-7080
千葉営業所	千葉市中央区今井町1493-4	〒260-0815	TEL.043-264-5252	FAX.043-226-7353
アクアシステム千葉営業所			TEL.043-264-7300	FAX.043-264-7332
横浜営業所	横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25(テクノウェイブ100 10F)	〒221-0031	TEL.045-450-5351	FAX.045-450-5352
北陸支店				
金沢営業所	金沢市松島2丁目18	〒920-0364	TEL.076-240-0350	FAX.076-240-0357
富山営業所	富山市田中町2丁目10-24	〒930-0985	TEL.076-433-2151	FAX.076-432-8234
福井営業所	福井市問屋町3丁目501番地(ウィング八田101号)	〒918-8231	TEL.0776-28-5361	FAX.0776-28-5362
中部支店				
名古屋営業所	名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F)	〒460-0026	TEL.052-339-0871	FAX.052-339-0895
名古屋環境システム課			TEL.052-339-0875	FAX.052-339-0895
名古屋産業システム課			TEL.052-339-0891	FAX.052-339-0895
アクアシステム中部営業所			TEL.052-332-6510	FAX.052-332-6513
静岡営業所	静岡市駿河区豊田3丁目2-15	〒422-8027	TEL.054-285-3201	FAX.054-284-1831
沼津営業所	沼津市若葉町3-10	〒410-0059	TEL.055-923-1377	FAX.055-923-3449
浜松営業所	浜松市東区丸塚町132-1	〒435-0046	TEL.053-463-1701	FAX.053-464-1818
岐阜営業所	岐阜市六条南3丁目7-11	〒500-8358	TEL.058-271-6651	FAX.058-274-7379
大阪支店				
大阪第一営業所	吹田市岸部中5丁目1番1号	〒564-0002	TEL.06-6378-2121	FAX.06-6378-2150
大阪第二営業所			TEL.06-6378-2121	FAX.06-6378-2150
アクアシステム近畿営業所			TEL.06-6388-5221	FAX.06-6389-4126
大阪開発チーム			TEL.06-6378-2133	FAX.06-6378-2150
大阪環境システム課			TEL.06-6378-2015	FAX.06-6378-2150
大阪産業システム課			TEL.06-6378-2007	FAX.06-6378-2150
ソリューション技術大阪G			TEL.06-6378-2001	FAX.06-6378-2150
南大阪営業所	堺市北区百舌鳥梅町3丁47-1(グレース中百舌鳥トキワ2A号室)	〒591-8032	TEL.072-253-4391	FAX.072-253-6966
滋賀営業所	守山市守山2丁目16-38-103	〒524-0022	TEL.077-583-3666	FAX.077-583-3685
京都営業所	京都市伏見区竹田中川原町359番地(TMKビル 1F)	〒612-8412	TEL.075-647-1550	FAX.075-647-1537
神戸営業所	神戸市中央区多聞通2丁目4-4(ブックローン神戸ビル 7F)	〒650-0015	TEL.078-382-1991	FAX.078-382-1993
姫路営業所	姫路市栗山町111	〒670-0954	TEL.079-281-5511	FAX.079-281-1487
中国支店				
広島営業所	広島市西区三篠町3-12-21(第2ベルビィ三篠 1F)	〒733-0003	TEL.082-537-0660	FAX.082-537-0678
福山営業所	福山市御幸町森脇337-2	〒720-0003	TEL.084-961-0222	FAX.084-961-0211
米子営業所	米子市上福原5丁目1-50	〒683-0004	TEL.0859-32-2970	FAX.0859-32-2971
岡山営業所	岡山市北区上中野2丁目24-14	〒700-0972	TEL.086-241-4221	FAX.086-241-4230
四国支店				
高松営業所	高松市東ハゼ町4-5	〒761-8054	TEL.087-867-4040	FAX.087-867-4042
松山営業所	松山市朝生田町2丁目1-33	〒790-0952	TEL.089-935-4335	FAX.089-935-4331
九州支店				
福岡第一営業所	福岡市博多区山王1丁目6-3	〒812-0015	TEL.092-474-7161	FAX.092-474-7167
福岡第二営業所			TEL.092-474-7161	FAX.092-474-7167
北九州営業所	北九州市小倉北区中井5丁目11-13	〒803-0836	TEL.093-571-5731	FAX.093-591-0192
久留米営業所	久留米市山川追分1丁目4-24	〒839-0814	TEL.0942-88-5825	FAX.0942-88-5823
大分営業所	大分市仲西町1丁目10-15	〒870-0135	TEL.097-551-1857	FAX.097-552-0589
熊本営業所	熊本市東区上南部2丁目7番12号	〒861-8010	TEL.096-380-8388	FAX.096-380-1795
アクアシステム南九州営業所			TEL.096-388-6615	FAX.096-388-6616
長崎営業所	長崎市大橋町7-5(横山ビル 1F)	〒852-8134	TEL.095-848-2221	FAX.095-848-5137
宮崎営業所	宮崎市大字芳士870	〒880-0123	TEL.0985-39-1577	FAX.0985-39-1089
鹿児島営業所	鹿児島市荒田2丁目59-11	〒890-0054	TEL.099-253-4321	FAX.099-253-4325

●駐在員　盛岡、長野、徳島、高知、山口、沖縄

技術の相談窓口	テラル株式会社　テラル技術相談センター　TEL：フリーダイヤル **0120-665720**　FAX：フリーダイヤル **0120-665721** 受付時間：平日9時～12時、13時～17時（土、日、祝日並びに弊社規定の休日は除く）

安全に関するご注意

- ●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ●電気工事はお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。
  配線などの据付け工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。
- ●決められた製品仕様以外でのご使用はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。

本カタログの内容についての問い合わせは、お近くの販売店、もしくは当社におたずねください。
本カタログの記載内容は、2015年7月現在のものです。

Yes, We use RecyclePaper.　再生紙を使用しています。

CAT-P-RPU-03-B